

インターネットをわれらに

第4回 市民のための自由なメディアを

ほとんどの人は、多かれ少なかれ、現在のテレビや新聞に不満を持っている。不満は商業主義や政治的偏向、あるいはダラメな取材かもしれない。それなら文句ばかり言っていないで、自分が納得できるマスメディアを作ろう。



真実を伝えないマスコミは、もういない

新聞やテレビが真実を伝えていていると信じている人はどれだけいるだろう。

今年のはじめ頃、世界中のマスコミは「イラクは大量破壊兵器を隠している」、「フセインはアル・カイダとつながっている」、「イラクを叩きのめせ」と叫んだ。アメリカのメディアは特にひどかった。そんなメディアのために、米軍は「リンチ上等兵救出作戦」だの「フセイン銅像引き倒し」といった映像を演出して見せたりもした。

イラク戦争について言えば、日本のマスコミは「同盟国だから支持すべき」といった根拠薄弱な言説に振り回され続けた。そして最近、何かとマスコミの話題になる北朝鮮については、異様さを強調するばかりで、報道の中身は空に等しい。

そして目に余る商業主義。特にテレビは広告主の意図次第でコロコロと態度が変わる。新聞や雑誌も、たとえば再販制度の問題などはまともに取り上げようともしない。こんなマスコミなんてもういない。



インターネットのジャーナリズム

インターネットは、これまでになく自由な電子メディアとして誕生した。そして今、インターネットを使って新しいジャーナリズムが誕生しつつある。

1999年、シアトルで開催されたWTOの新ラウンド¹⁾の会議が、反グローバル化を掲げて世界中から集まった無数のNGOや市民団体の抗議行動により失敗²⁾するという事件があった。いわゆる「反グローバル化運動」を象徴するこの事件だったが、この出来事を情報の面で支えることを目的として誕生したサイトが、インディペンデント・メディア・センター (IMC) ³⁾ だった。

IMCは、市民、民衆の視点でメディア運動を展開してきたNGO/NPO³⁾により開設されたサイトだ。反グローバル化ばかりでなく、平和、環境、人権、アートなど、さまざまな分野にわたる情報を提供する。運営は非営利で、記者や編集者、サイト管理者もボランティアだが、プロのジャーナリスト⁴⁾や、マスコミの手が及ばない領域で活動するNGOのスタッフなどによる記事の水準は、いかにげんなマスコミの記事をはるかにしのぐ。

IMCが他のニュースサイトと比べてユニークな点は、IMCが単独のサイトではなく、世界各地のメディア団体により独立して運営されるサイトの集合体だという点だ



independent media center
URL <http://japan.indymedia.org/>



japan independent media center
URL <http://www.indymedia.org/>





OhMyNews
URL www.ohmynews.com/



JANJAN
URL <http://www.janjan.jp/>

ろう。そして今年、日本のNGOが待ち望んでいたIMCの日本のサイト⁵がオープンした。

9月にメキシコのカンクンで開かれるWTO会議、そして来年1月にムンバイで開かれるWSF会議に向けて、日本のIMCの活躍を期待したい。



大統領を生んだ 韓国のネット新聞

韓国の「OhMyNews⁶」というサイトをご存じだろうか。インターネットを使って、既成のマスコミのニュースサイトと比べても遜色のないほどのニュースサイトを運営している。このサイトが特徴的なのは、自前の記者ばかりでなく、広くネットで記者を集め、市民自身が市民の視点で書いた記事を掲載していることだ。

一定の記事の質と量を確保するために専従の記者や編集者が必要なので、ある程度の広告や営業を行っているが、基本的にはボランティアペースで運営されている。

メディア財閥により経営される既成のマスコミと異なり、インターネット新聞に特化したことで、広告主や政治的圧力を受け

ない。あくまでも市民の視点に徹した記事が、既成のマスコミにうんざりしていた若い世代を中心に大きな反響を呼んだのである。韓国の若い人の中には「ニュースは『OhMyNews』で読む。紙の新聞は読まない」という人は少なくない。

それだけに、若い世代には大きな影響力を持ち、実際に「OhMyNews」の報道は、現韓国大統領、盧武鉉氏の当選⁷に決定的な役割を果たしたとも言われる。

そして日本でもこの4月、「OhMyNews」の手法を取り入れたNPO型インターネット新聞⁸「JANJAN」がオープンした。「OhMyNews」同様、基本はボランティアの市民記者で、誰もが自分の視点で書いた記事を投稿できる。まだ本家のOhMyNewsと比べるとスケールは小さいが、「JANJAN」が大きく育つかどうかは、まさに読者自身にかかっている。ちなみに韓国では、OhMyNewsの成功に触発されて、各地で同様のインターネット新聞が続々と生まれている。

「既成のマスコミは腐っている」と思う方は、ぜひ自分の手で「JANJAN」のようなインターネット新聞を育ててほしい。

次号最終回「反グローバリゼーション」に続く

著者プロフィール

安田幸弘(やすだゆきひろ)

本業はテクニカルライター。また、非営利活動分野でのインターネット利用を支援するために、NGO/NPOへのボランティア・コンサルタントとしても活動中。パソコン通信、インターネット、Windows、Linux、MacOSなどに関する著書多数。Linux雑誌「Linux Magazine」、「Linux World」などに連載記事。著書「Zopeガイド(毎日コミュニケーションズ)」「Apacheアプリケーションサイト構築(オーム社)」「市民インターネット入門(岩波ブックレットNo.433)ほか多数。

筆者の近況

IMCや韓国のネット新聞は、文章ばかりでなく、写真やビデオを多用して効果を上げている。先日、ほくも安物のビデオカメラでちょっとしたビデオクリップを作ってみたところ、「けっこうよくてできる」と言われて、何だかその気になりかけている今日のご様子。

今月取り上げたNPO / NGO

independent media center

URL <http://www.indymedia.org/>
各地のメディア系NGOが1999年のWTOシアトル会議の前に設立。

japan independent media center

URL <http://japan.indymedia.org/>
2003年、日本国内の有志により設立。
参加方法:ウェブから記者登録申請。
メールでの連絡、またはメーリングリスト(<http://japan.indymedia.org/feature/display/557/index.php>)などを通じて運営に参加可能。
連絡先: <http://japan.indymedia.org/info/display/contact/>

OhMyNews

URL <http://www.ohmynews.com/>
1999年、「世界最初のインターネット新聞らしい新聞」として創刊。古いマスコミ、ニュースの生産・消費の構図を打ち破り、新しいメディアを目指す。
連絡先: webmaster@ohmynews.com

JANJAN

URL <http://www.janjan.jp/>
2003年「NPO型インターネット新聞」として創刊。
参加方法:ウェブから記者登録
<http://www.janjan.jp/journalist/journalist.html>
連絡先:日本インターネット新聞株式会社〒102-0083 東京都千代田区麹町2-3麹町ガーデンビル9F
TEL:03-5216-2030
FAX:03-5216-2031
E-mail: info-jan@janjan.jp

(脚注)

- *1 WTOは、世界貿易機関の略称。前身のGATTがウルグアイ・ラウンド後、さらにその機能を強化し、95年にWTOとして発足。
- *2 99年、シアトルで開催された第三回WTO閣僚会議で新ラウンドが立ち上げられる予定だった。しかしWTOの強力な権限によるグローバル化の強制が民衆の暮らしを破壊するとし、世界中から集まったNGO、市民団体、労働組合などの抗議行動により、新ラウンドの立ち上げに失敗した。当初、「シアトル・ラウンド」と呼ばれる予定だったWTOの新しいラウンド(交渉のセッション)は、これにより単に「新ラウンド」と呼ばれている。
- *3 たとえば、米国の有名な市民運動家ラルフ・ネーダーが設立したパブリック・シチズン。米国のパブリックアクセス制度を使って映像作品を作成してきたベーパータイガーTVなど。
- *4 掲載される記事は無給のボランティア記者によるが、一般の市民ばかりでなくプロやセミプロのジャーナリストやカメラマンが非常にレベルの高い記事や映像を寄稿している。米国では、IMCのような非営利のメディアが多く、これらの非営利メディアはプロのジャーナリストの登竜門にもなっている。
- *5 2003年にオープンした。日本のサイトとは言え、世界中をネットワークするIMCの日本のサイトだけに、英文記事も少なくない。
- *6 OhMyNewsという名前の由来は、韓国のコメディアン「Oh! My God!」というギャグだという。
- *7 盧武鉉氏は反米、民衆派のイメージで若年層に支持されたが特にインターネット上で形成された「ノサモ(盧武鉉を愛する会)」と呼ばれるサポーター、明確に革新の編集姿勢を取り、盧武鉉に好意的だったOhMyNewsなどの影響が大きかったと言われる。
- *8 現行のNPO法では監督官庁による認証が必要となるため、JANJANは言論の独立性を維持するために、組織形態としては株式会社「日本インターネット新聞社」を運営母体を持つ。しかし、運営はあくまでもNPO的手法で行われ、資金調達も市民運動的なサポーターからの寄付などによって賄われるという。





[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp